

自己評価報告書(最終報告)

報告者

臨床心理士養成コース
／粟飯原 良造

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

- ① 保育所訪問を行い、いわゆるグレーゾーンの児や診断されていない発達障害児を継続的に観察し、保育士の当該する子どもとその保護者へのかかわり方のスキルアップを図る。
- ② カウンセリング理論を学ぶ際に、参考図書から得た知識を実際に担当した事例に結び付けることは難しいと考えられる。この知識と実践とを結ぶワークを考えて検討を加えたい。

2. 点検・評価

- ① 3年間で鳴門市内の全保育所、全幼稚園訪問を行い、いわゆるグレーゾーンの児や診断されていない発達障害児を継続的に観察し、保育士や幼稚園教諭へのコンサルテーション、当該する子どもとその保護者へのかかわり方のスキルアップを図った。h五社へのカウンセリングを行った。
- ② カウンセリング理論を学ぶ際に、参考図書から得た知識を実際に担当した事例に結び付けることは難しいと考えられる。この知識と実践とを結ぶワークを考えて実践した。さらに、授業の細分化を図り、受講生の興味を持続することを目指した。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

- ① 講演やカウンセリング等を行う際に、できるだけ鳴門教育大学大学院の良さをアピールする。
- ② 四国大学、高知大学、放送大学で、臨床心理士養成コースをアピールする。

2. 点検・評価

- ① 全国レベルから地区、保育所単位の講演を約20回行い、カウンセリング等を行う際に、できるだけ鳴門教育大学大学院の良さをアピールした。
- ② 四国大学、高知大学、放送大学で、臨床心理士養成コースをアピールした。
- ③ 個人的に興味を示した人にもパンフレット等を使ってアピールした。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①公開講座を鳴門教育大学だけでなく、東みよし町と共催して、発達障害児への対応等を普及させる。
- ②保育カウンセラーとして、カウンセリングやコンサルテーションを行う。
- ③美波町、牟岐町、海陽町、東みよし町の乳幼児健診、4・5歳児健診にかかわり、育児支援、発達障害児支援にかかわる。
- ④鳴門市の1歳6か月健診、3歳児健診にかかわる。5歳児健診の準備として保育所・幼稚園への巡回相談にかかわる。また、新版K式発達検査を実施する場を大学院生に月2回提供する。
- ⑤鳴門市板東ゆたか保育園での実習を大学院生に提供し、修士論文にまとめる。
- ⑥NPO法人育児支援センター「スキップ」で、カウンセリングを行う。
- ⑦保育所、小中学校での講演、公共機関等主催のカウンセリング研修会の講師を務める。
- ⑧心身健康センターのカウンセラーを務める。
- ⑨本学心理・教育相談室相談員を務める。

2. 点検・評価

- ①公開講座を鳴門教育大学だけでなく、東みよし町と共催して、発達障害児への対応等を普及させる事に努めた。
- ②保育カウンセラーとして、カウンセリングやコンサルテーションを行った。
- ③美波町、牟岐町、海陽町、東みよし町の乳幼児健診、4・5歳児健診にかかわり、育児支援、発達障害児支援にかかわった。
- ④鳴門市の1歳6か月健診、3歳児健診にかかわる。5歳児健診の準備として保育所・幼稚園への巡回相談にかかわる。また、新版K式発達検査を実施する場を大学院生に月2回提供した。
- ⑤鳴門市の健診と鳴門市板東ゆたか保育園での実習を大学院生に提供し、修士論文にまとめた。
- ⑥NPO法人育児支援センター「スキップ」で、カウンセリングを行った。
- ⑦保育所、小中学校での講演、公共機関等主催のカウンセリング研修会の講師を務めた。
- ⑧心身健康センターのカウンセラーを務めた。
- ⑨本学心理・教育相談室相談員を務めた。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- ①長谷川式述部記録法を集大成する。
- ②面接技法、面接技術の習得を促すワーク、学習法を実践し、学会誌に投稿できるようにまとめる。
- ③かかわった乳幼児健診について検討して、学会誌に投稿できるように検討する。
- ④解決志向アプローチを和風アレンジする。

2. 点検・評価

- ①長谷川式述部記録法を集大成しつつある。
- ②面接技法、面接技術の習得を促すワーク、学習法を実践し、学会誌に投稿できるようにまとめつつある。
- ③かかわった乳幼児健診について検討して、学会誌に投稿できるように検討している。
- ④解決志向アプローチを和風アレンジして、実際にカウンセリングに用いている。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①衛生委員会委員として、本学の安全性と健康増進に寄与する。
- ②人権教育委員会委員として人権教育の浸透に寄与する。
- ③大学院受験者を増やすために、学外でのアピールをする。
- ④本学大学、大学院入試にかかわる。

2. 点検・評価

- ①衛生委員会委員として、本学の安全性と健康増進に寄与した。
- ②人権教育委員会委員として人権教育の浸透に寄与した。
- ③大学院受験者を増やすために、学外でのアピールを行った。
- ④本学大学、大学院入試にかかわった。
- ⑤四国大学、高知大学、放送大学(徳島学習センター、高知学習センター、香川学習センター)を訪問し、大学生に本学大学院説明会を行った。臨床心理士養成コースの入学定員を2名上回った。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務める。
- ②定期的にカウンセリング研修会を開き、一般社会人や学生にカウンセリングを普及させる。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行う。

2. 点検・評価

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務めた。
- ②定期的にカウンセリング研修会を開き、一般社会人や学生にカウンセリングを普及を試みた。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行い、派遣された。
- ④徳島県教育委員会のスクールカウンセラーを務めた。
- ⑤徳島県教育委員会のスクールプロフェッサーを務めた。
- ⑥徳島県総合教育センター特別支援のハートケアマネージャーを務めた。
- ⑦ライブ附中タイム(LFT)で講師を務めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)